



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 リード
コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 田口 英美

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,101	16.1	1		24		23	
2022年3月期第1四半期	948		66		40		40	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.99	
2022年3月期第1四半期	15.77	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,353	2,484	29.7
2022年3月期	8,144	2,395	29.4

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 2,484百万円 2022年3月期 2,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,230	25.5	55		40		40		15.55
通期	4,650	17.3	50		60		45		17.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	2,632,960 株	2022年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	60,370 株	2022年3月期	60,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	2,572,590 株	2022年3月期1Q	2,572,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きが見られたものの、世界的な半導体供給不足やウクライナ情勢などに伴う急激な円安の進行、原材料価格や原油価格の上昇に加えて、新型コロナウイルス感染症については、中国主要都市におけるロックダウンなど、依然として企業活動に影響を及ぼしており、先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比4月が63.3%増、同5月が2.9%減、同6月が5.3%減となりました。

このような経済環境の中で当第1四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、半導体供給不足の影響が当初計画に比べ緩和され、受注が増加したことを主因に、1,101百万円(前年同期比16.1%増)となりました。

損益面につきましては、原材料価格や電気料の上昇等圧迫要因があった半面、人員配置の適正化や物流コストの効率運用等を図った結果、営業利益は1百万円(前年同期は営業損失66百万円)と少額ながら黒字を確保いたしました。

営業外収益は受取配当金10百万円、受取賃貸料9百万円、助成金収入15百万円等により36百万円、営業外費用は支払利息11百万円等により14百万円を計上し、経常利益は24百万円(前年同期は経常損失40百万円)と黒字計上いたしました。また、その結果、四半期純利益は23百万円(前年同期は四半期純損失40百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、半導体供給不足の影響が徐々に緩和され、受注が増加したことから、1,018百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

損益面につきましては、原材料価格や電気料の高騰があったものの、人員配置の適正化や物流コストの削減等、生産性改善が進んだことから、セグメント利益(経常利益)は、22百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)36百万円)となりました。

②自社製品

当セグメント全体の売上高は、82百万円(前年同期比6.6%増)となりました。内訳としては、電子機器部門が新規先や既存先に対する営業強化が奏功し57百万円(前年同期比76.0%増)となりました。一方、駐輪部門においては、駐輪ラック販売や保守補修の継続案件は前年並みの売上を計上したものの、官公庁や駅等の工事を伴う受注案件のうち、工事の検収時期が7月以降のものが多かったことから、当第1四半期累計期間に計上される売上高は25百万円(前年同期比43.3%減)に留まりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は5百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)11百万円(内電子機器部門はセグメント利益(経常利益)1百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)6百万円)、駐輪部門はセグメント損失(経常損失)7百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)4百万円))となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は賃料改定により、6百万円(前年同期比14.6%減)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末比208百万円増加し8,353百万円となりました。

・資産

流動資産は、現金及び預金が180百万円、受取手形及び売掛金が9百万円増加し、電子記録債権が39百万円、その他のうち未収入金が20百万円減少したこと等から129百万円増加し3,066百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が43百万円、建設仮勘定が58百万円増加し、建物が18百万円、工具、器具及び備品が31百万円、リース資産が88百万円減少したこと等から有形固定資産は34百万円減少し4,399百万円となり、また、投資有価証券が114百万円増加したこと等から投資その他の資産は113百万円増加し883百万円となりました。その結果、固定資産全体では78百万円増加し5,286百万円となりました。

・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が23百万円、短期借入金が25百万円、その他のうち設備関係支払手形が22百万円増加し、未払金が12百万円、賞与引当金が12百万円、その他のうち未払消費税等が26百万円減少したこと等から22百万円増加し2,764百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が97百万円、その他のうち繰延税金負債が34百万円増加し、その他のうちリース債務が29百万円減少したこと等から97百万円増加し3,104百万円となりました。その結果、負債全体では119百万円増加し5,868百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が12百万円、第1四半期純利益が23百万円となり利益剰余金が10百万円増加し、また、その他有価証券評価差額金が78百万円増加したことから88百万円増加し、その結果、純資産額は2,484百万円となりました。これにより自己資本比率は29.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間の業績見通しにつきましては、前回公表しました業績予想を上方修正しております。詳細につきましては、本日公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の業績予想につきましては半導体供給状況や新型コロナウイルス感染症の影響等、不透明な状況もあることから、変更していませんが、今後状況に応じて適切な開示を行ってまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,710,079	1,890,483
受取手形及び売掛金	502,197	512,139
電子記録債権	327,066	287,209
製品	81,515	77,146
仕掛品	27,635	32,670
原材料及び貯蔵品	173,529	182,298
その他	115,651	85,116
貸倒引当金	△140	△140
流動資産合計	2,937,535	3,066,924
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,454,954	1,436,214
構築物(純額)	43,555	41,894
機械及び装置(純額)	450,635	494,416
車両運搬具(純額)	6,213	9,661
工具、器具及び備品(純額)	285,553	253,943
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	510,316	422,225
建設仮勘定	24,378	83,142
有形固定資産合計	4,433,475	4,399,366
無形固定資産		
ソフトウェア	612	985
リース資産	2,760	2,400
無形固定資産合計	3,372	3,385
投資その他の資産		
投資有価証券	686,421	800,565
その他	85,990	85,614
貸倒引当金	△1,840	△2,600
投資その他の資産合計	770,571	883,579
固定資産合計	5,207,418	5,286,330
資産合計	8,144,954	8,353,255

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,340	267,978
短期借入金	1,579,978	1,605,182
未払金	608,445	596,414
未払法人税等	6,718	4,508
賞与引当金	20,000	8,000
その他	282,946	282,666
流動負債合計	2,742,428	2,764,750
固定負債		
長期借入金	1,945,934	2,043,060
退職給付引当金	62,313	58,697
資産除去債務	50,754	50,764
その他	947,544	951,659
固定負債合計	3,006,547	3,104,182
負債合計	5,748,976	5,868,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	211,245
利益剰余金	371,129	381,384
自己株式	△31,746	△31,746
株主資本合計	1,208,868	1,219,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	213,525	291,615
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,187,109	1,265,199
純資産合計	2,395,977	2,484,322
負債純資産合計	8,144,954	8,353,255

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	948,880	1,101,577
売上原価	881,983	961,397
売上総利益	66,897	140,179
販売費及び一般管理費	133,026	138,407
営業利益又は営業損失(△)	△66,128	1,772
営業外収益		
受取利息	36	26
受取配当金	4,551	10,221
受取賃貸料	11,118	9,886
助成金収入	23,712	15,282
その他	1,547	1,481
営業外収益合計	40,965	36,898
営業外費用		
支払利息	12,344	11,582
その他	2,825	2,817
営業外費用合計	15,169	14,399
経常利益又は経常損失(△)	△40,332	24,271
特別損失		
固定資産除却損	-	85
特別損失合計	-	85
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△40,332	24,186
法人税、住民税及び事業税	205	1,070
法人税等調整額	20	△1
法人税等合計	225	1,068
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,557	23,117

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に係る会計上の見積り)

前事業年度の財務諸表において記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。